

台風 12 号

1

9 月 3 日の今日、大型台風 12 号が笠岡に接近し、心配されました。午前中の盆踊り保存会総会の後、午後 1 時から笠岡ハートフル福祉大会に出席し、式典が終わってすぐ見回りに出かけました。

満潮は午後 2 時 47 分です。金浦国道下では、相変わらず海水の逆流と山水の排水で、地盤の低さもあってすでに深さ 30 センチはある浸水だった。地域の土木業者が地域の安全を確保しようと、排水ポンプの手配をしてくださった。

次に大潮のときにはいつも海水の逆流がみられた生江浜 8 区に向かいました。



これまで再三の要望で、下水工事と同時に雨水の排水管改善、排水溝の傾斜確保、逆流止めのフラップ弁設置、などで改善が顕著でした。問題もなくほっとしました。

しかし北山下地区は海水面からも低く、中央を流れる大溝川はすでにぎりぎり、国道横の興福寺あたりでは浸水していました。業者が呼ばれ、2 基ある排水機では間に合わない判断し、もう一つ排水機を設置して排水しました。



吉浜土手の水門では、いつもよりも潮位が高いとはっきりわかりました。



また、市の排水機場横は、海水の逆流、雨水で浸水していました。

吉浜地区は昔は海、今は優良な稲作地帯ですが、県の水門がなければ水没してしまいます。

今は満潮なので、雨がこれ以上降れば、市の排水機だけではとても間に合いません。



特に有田側の流れは飽和状態です。銀山地区でも石橋を超えんばかりに流れていました。この橋は石造りです。橋の中央に支柱がありますが、こんな流れの時には、水流の妨げとなります。農家の人たちは、これをコンクリートの橋に代えてほしいと願っています。



狐崎に向かう市道



その先は冠水



県管理の吉田川に設置された水門ではもうすぐ脇道にあふれそうになっていましたが、すでに 3 時半。少しずつ引き潮の影響で、水面が低くなりつつあるようです。上流からも心配して見に来られており、「もうこれで安心じゃな一」と言われていました。



帰りに金浦小学校の横を通ってみました。水田の中は水があふれ、冠水していましたし、川の水も道にあふれだしていました。でも雨が少なくなり、風もおさまった感じがします。これ以上悪化することはないでしょう。3 時 50 分。



1

ところが、我が家に帰る道、地元生江浜の会館裏の溝があふれ、ひざ下までになったと言います。水は引き始めており、大事に至りませんでした。下水管に流れており、市の下水担当者も困っておられました。4時10分。

どうも、雨水溝の海に面した排水口につけられたフラップ弁に不具合があり、海水が逆流したみたいです。

8年前の台風16号を思い出します。でも、その後の対策が役立ったことに加えて、予報されたほど大きな雨量や強い風がなかったことが被害の小ささをもたらしました。夕方6時岡山県南部再上陸のニュースもありましたが、雨も風もピタッと止まり、翌日4日の朝は、陽の光がまぶしいほどでした。